

1 教育目標

創造性に溢れた心豊かでたくましく生きる児童の育成

○自ら学び考える子 ○思いやりのある子 ○健康でねばり強い子

2 前年度の成果と課題

【成果】

- ・ 服務規律の確保や学校の管理等に関して、全職員の協力のもとスムーズな運営ができています。
- ・ 集団活動や学級における活動が工夫され、楽しい学級生活が送れている。
- ・ 校内研修が効果的に行われ、授業改善の意識が向上している。
- ・ 指導の手引きや学びのサイクルの共有で、学習を支える力をつけることができています。
- ・ 教育活動全体を通して、豊かな心の育成が行われている。
- ・ 安全教育、食育などが計画的に行われている。
- ・ 家庭や地域との連携を意識している職員が多い。

【課題及び対応策】

- 自主的な学級活動を推進する必要がある。
- 確かな学力の育成を推進する必要がある。
- 道徳の時間の授業改善を進める必要がある。
- 運動能力の向上を図る必要がある。

3 評価の方法

(1) 評価の指標

学校職員、保護者、児童への質問紙調査や各種調査の結果を評価の指標として設定する。

(2) 評価の時期

7月と12月

4 7月の評価を受けた、2学期からの改善点

(1) 保護者から指摘があるように、清掃が行き届かないところがある。

→ 毎日、担任か児童当番が清掃後に点検をする。

(2) 自治的能力や主体的な態度を育てるために、朝の会や帰りの会で、児童に生活の様子を自己評価させることが大切である。（今日のめあてと振り返り）

→ 朝の会、帰りの会を大切にする。共通実践項目の再確認をする。

(3) 体力の向上の工夫をする。

→ 「朝マラソン」の意識を向上させる。昼休みの外遊びを活発にする。自力登校のすすめ。

(4) 授業改善の取り組みを推進する。

→ 身に付けさせたいことを明らかにし、その到達状況を評価し、個別指導を効果的に行う。
授業中の形成的評価と今日のチェックの時間の活用。

(5) 体験活動や栽培活動の充実を図る。

→ 情操教育のため、充実を図る必要がある。特に学級園の活用。

5 評価結果

(1) 運営・管理

① 教育公務員としての自覚、家庭・地域に信頼される学校	A
② 個人研修・校内研修の充実、教職員の資質向上と指導力の向上	A
③ 特別支援教育の組織的な推進及び充実	A
④ 施設・設備・備品の計画的な管理、教育環境の整備	A

全項目が目標に届いており、良好である。特に施設・設備の整備は肯定率100%である。市教育委員会の速やかな対応に感謝する。

目標はクリアしているが、「職員間のコミュニケーション及び組織的な活動」の項目で自己評価が若干下がっている。連絡会や職員会議等の運営に工夫したい。

(2) 学び合う集団づくり

① よりよい生活や望ましい人間関係を築く学級づくり	A
② 児童理解を基盤にした生徒指導や教育相談の定期的・計画的な推進	A

ほとんどの項目で目標を達成できているが、学級自治の部分と個に応じた指導・支援の部分が若干目標に届いていない。

朝と帰りの短学活や学級活動など、特別活動の工夫を進めたい。また、個別の指導については、児童理解の進め方と個別指導の時間確保が課題となっている。

(3) 確かな学力の育成

① めざす授業像を共有した、授業改善	A
② 教材研究の充実	A
③ 学力向上マネジメントの推進	A
④ 学力を支える力の育成	A

授業改善については全職員で取り組んでいる。毎時間の形成的評価（チェック）の位置付けを含め、45分のタイムマネジメントが課題である。

教材研究では、週案の活用が若干課題である。（提出率）

「この本を読もう」の完読者数が目標に届くかどうか（12月現在20%：目標は50%）、並行読書の取り組みとともに強化したい。

(4) 豊かな心の育成

① 道徳教育推進教諭を中心とした推進体制の構築と道徳教育の確かな実践	A
② キャリア教育、食育、人権教育、平和教育、外国語活動などと各教科等と関連つけた計画の充実と確かな実践	A
③ 各教科等における地域素材を生かした豊かな体験活動の充実	A
④ 生命を尊重する心や態度を育むための自然体験、生活体験の充実	A
⑤ 「言葉づかい」、「挨拶」、「心のみやこ〜7つの習慣〜」への取り組み	A
⑥ 読書活動の充実	A

全項目で目標を超えており、良好な結果である。

道徳の評価が始まっているので、全職員で確認しながら進めたい。

(5) 健康・体力・生活習慣

① 自ら進んで運動に親しむ資質や能力の育成	A
② 運動や遊びの日常化	B
③ 健康・安全指導の充実	A

体力テストの結果が大きく改善され、全種目全国平均並みの目標にあと少し。

体育の時間に運動量を確保する取り組みと朝マラソンの意識は改善が見られる。昼休みの外遊びについての意識も改善されているが、目標には届かない。児童の体力づくりへの意識の向上を図りたい。

(6) 連携・協力

① 日常的な情報の発信	A
② P T A活動、地域の諸行事等への積極的な参加・連携・協力	A

良好である。今の取り組みを継続し、信頼される学校となるよう努めたい。

6 総合評価

(1) 成果

- ・ 服務規律の確保や学習環境の管理等に関して、計画的に行われている。
- ・ 集団活動や学級における活動が工夫され、楽しい学級生活が送れている。
- ・ 校内研修が効果的に行われ、授業改善が進んでいる。
- ・ 指導の手引きや学びのサイクルの共有で、学習を支える力をつけることができている。
- ・ 教育活動全体を通して、豊かな心の育成が行われている。
- ・ 安全教育、食育などが計画的に行われている。
- ・ 家庭や地域との連携を意識している職員が多い。

(2) 課題及び対応策

- 自主的な学級活動を推進する必要がある。
 - ・ 朝の会や帰りの会を工夫し、児童による学級自治の意識を高めたい。
 - ・ 学級園の管理意識を高め、栽培活動を計画的に行う。
- 確かな学力の育成を推進する必要がある。
 - ・ 形成的評価や振り返りまで含めての45分完結型授業を徹底する。
 - ・ カリキュラム・マネジメントを意識し、年間指導計画と週案をツールとして活用する。
 - ・ 国語と算数は教材研究ノート（マイノート）を作成し、毎時間の授業改善を行う。
 - ・ 「自力でできるか」を意識した形成的評価を入れた授業づくりを進める。
 - ・ 「今日のチェック」と補習学習を計画的に進める。（週案への記入）
 - ・ 家庭学習の習慣の定着を図る。（家庭との協力、個別指導）
 - ・ 読書活動の充実を図る。（並行読書の工夫、「この本を読もう」の見直し）
- 道徳の時間の授業改善を進める必要がある。
 - ・ 道徳推進教師を中心として、学期ごとに改善を図る。
- 運動能力の向上を図る必要がある。
 - ・ 体力テストには練習をして臨む。（体力の正しい測定）
 - ・ 体育の時間には、準備運動として縄跳びを取り入れる。
 - ・ 昼休み等の外遊びを奨励する。

7 教育委員会への要望

- ・ 施設・設備の修繕への速やかな対応に感謝しています。今後ともご協力をお願いします。
- ・ 「魅力ある学校づくり補助金」で、外部講師招聘が可能になっており、授業改善の研修が充実しています。引き続き事業の継続をお願いします。
- ・ 校庭へのブランコ、登り棒、バスケットボールリング等の遊具設置をお願いします。

8 評価結果の詳細 ※ () 内の数値は前期の肯定率

A (76%以上) B (68～75%) C (50～74%) D (50%未満)

(1) 運営・管理

① 教育公務員としての自覚、家庭・地域に信頼される学校

私は、学校の経営方針を理解し、その具現化に向けた学級経営に努めている。	職員	A 100% (90%)
私は、学校教育目標を理解している。	児童	A 95% (89%)
私は、学級目標を理解している。	児童	A 91% (84%)
学校では、法令遵守等は、組織的に取り組まれている。	職員	A 100% (100%)
学校では、事件事故等には、速やかに適切に対応されている。	職員	A 100% (100%)
私は、報告・連絡・相談に留意し、業務を遂行している。	職員	A 93% (100%)
学校では、職員間のコミュニケーションが円滑で、組織的な教育活動が行われている。	職員	A 80% (91%)
私は、学校の方針について理解し、業務の工夫改善に努めている。	職員	A 93% (91%)
私は、PDCAのマネジメントサイクルのもと、計画的に業務を遂行している。	職員	A 87% (91%)

② 個人研修・校内研修の充実、教職員の資質向上と指導力の向上

私は、常に研修の成果を生かした日々の授業改善に取り組んでいる。	職員	A 100% (78%)
学校では、校内研修は学校課題解決・職員の資質向上に有効にはたらいっている。	職員	A 100% (100%)

③ 特別支援教育の組織的な推進及び充実

学校では、特別支援教育について組織的に取り組まれている。	職員	A 93% (91%)
------------------------------	----	-------------

④ 施設・設備・備品の計画的な管理、教育環境の整備

学校では、施設・設備・備品は計画的に整備されている。	職員	A 100% (100%)
学校では、安全点検で教育環境の維持管理が図られている。	職員	A 100% (100%)
学校では、屋内は、清掃が行き届き、清潔な環境が保たれている。	職員	A 93% (100%)
学校では、屋外は、清掃や栽培活動が行き届き、教育環境として望ましい環境が保たれている。	職員	A 100% (100%)
学校は、学習の場にふさわしい環境の整備・充実に努めている。	保護者	A 92% (87%)
学校は、安全で楽しく遊べる。	児童	A 87% (82%)
学校には学習に必要なものがそろっている。	児童	A 87% (82%)

(2) 学び合う集団づくり

① よりよい生活や望ましい人間関係を築く学級づくり

私は、学活や短学活を充実させ、自治的な能力の育成を行っている。	職員	A 89% (100%)
学校では、楽しく遊ぶ友達がいる。	児童	A 90% (88%)
子どもは、学校へ行くのが楽しいと言っている。	保護者	A 90% (92%)
子どもは、学校行事(運動会、遠足など)を楽しみにし積極的に参加している。	保護者	A 95% (97%)
学級では、朝の会と帰りの会でその日の学校生活について振り返っている。	児童	B 75% (72%)
学級では、学級会でみんなで学級の生活について話し合っている。	児童	B 68% (65%)
学級では、学級会でみんなで学級の生活について話し合っている。	職員	B 67% (88%)
私は、(学級・授業・その他活動などで)集団活動を工夫し、人間関係を深めることに努めている。	職員	A 89% (88%)
私たちの学級は仲良しで、楽しい。	児童	A 79% (75%)
私は、当番活動や栽培活動の充実を図り、責任感や自己存在感を持たせている。	職員	A 89% (100%)
私は、給食・係・掃除などの当番活動は責任を持って行っている。	児童	A 88% (80%)
学級では、栽培活動を行っている。	児童	A 91% (53%)
私は、学級だより等で児童に学級での活動方針等を周知している。	職員	A 78% (88%)

② 児童理解を基盤にした生徒指導や教育相談の定期的・計画的な推進

私は、共感的態度を基本として児童に接し、信頼関係を築いている。	職員	A 100% (78%)
私は、児童理解をもとに、個に応じた指導・支援に心がけている。	職員	B 67% (78%)
先生は、がんばったことやできたことをほめてくれる。	児童	A 89% (80%)
先生は話を聞いてくれる。	児童	A 93% (81%)
学校では、教育相談週間は、有意義に行われている。	職員	A 87% (60%)
先生は、子どもの困ったことや悩みなどについて、誠実に対応している。	保護者	A 81% (81%)
先生は、困ったときなど何でも相談にのってくれる。	児童	A 84% (74%)
学校では、積極的な生徒指導で、問題行動等の未然防止・早期発見ができています。	職員	A 100% (90%)
学校では、「いじめ防止基本方針」に則った取組が行われている。	職員	A 100% (100%)
学校では、定期的に生徒指導などの児童理解の話し合いがもたれ、その対応に対して、共通理解が図られている。	職員	A 100% (100%)

(3) 確かな学力の育成

① めざす授業像を共有した、授業改善

私は、めざす授業像を共有し、それに向けて授業改善に取り組んでいる。	職員	A 89% (89%)
私は、「学力向上推進プロジェクト」を意識して、授業改善に取り組んでいる。	職員	A 78% (89%)
私は、毎時間の授業に形成的評価(その時間のチェック)を位置づけている。	職員	B 67% (56%)
授業は、ベルとともに始まり、チャイムとともに終わる。	児童	B 71% (66%)
授業では、自分で考える時間がある。	児童	A 89% (82%)
授業では、友達と話し合う時間がある。	児童	A 84% (77%)

② 教材研究の充実

私は、週案を活用し、単元を見通した教材研究に努めている。	職員	A 78%(89%)
私は、各種調査の分析及び活用に努めている。	職員	A 78%(78%)
私は、年間指導計画の日常的な見直しを行っている。	職員	A 78%(78%)
週案提出率90%以上	数値	C 56%(89%)
子どもは、授業が楽しいと言っている。	保護者	A 84%(80%)
先生は、子どもたちの能力や努力を適切・公平に評価している。	保護者	A 90%(86%)
授業は、わかりやすく楽しい。	児童	A 84%(81%)

③ 学力向上マネジメントの推進

私は、学力向上年間サイクルを意識して取り組んでいる。	職員	A 78%(67%)
----------------------------	----	------------

④ 学力を支える力の育成

私は、指導の手引きによる全校共通実践に努めている。	職員	A 100%(78%)
私は、学びのサイクル徹底に努めている。	職員	A 78%(89%)
家庭学習・宿題提出率90%以上	数値	A 82%(85%)
家庭では、子どもの家庭学習の時間を確保し励ましの声かけに努めている。	保護者	A 92%(89%)
私は、並行読書に取り組んでいる。	職員	B 67%(56%)
「この本を読もう」完読者が50%以上	数値	D 20%(12月)

(4) 豊かな心の育成

① 道徳教育推進教諭を中心とした推進体制の構築と道徳教育の確かな実践

私は、道徳の時間を核として、道徳教育の充実に取り組んでいる。	職員	A 100%(88%)
--------------------------------	----	-------------

② キャリア教育、食育、人権教育、平和教育、外国語活動などと各教科等と関連づけた計画の充実と確かな実践

学校では、キャリア教育、食育、人権教育、平和教育、外国語活動などの目標・内容と各教科等と関連づけた計画が作成されている。	職員	A 93%(93%)
--	----	------------

③ 各教科等における地域素材を生かした豊かな体験活動の充実

学校では、各教科等における地域素材を生かした豊かな体験活動の充実が図られている。	職員	A 87%(70%)
--	----	------------

④ 生命を尊重する心や態度を育むための自然体験、生活体験の充実

学校では、生命を尊重する心や態度を育むための自然体験、生活体験の充実が図られている。	職員	A 87%(100%)
--	----	-------------

⑤ 「言葉づかい」、「挨拶」、「心のみやこ〜7つの習慣〜」への取り組み

学校では、「言葉づかい」、「挨拶」、「心のみやこ〜7つの習慣〜」への取り組みがされている。	職員	A 80%(90%)
先生は、やっていいこと・悪いことについてきちんと指導している。	保護者	A 91%(91%)
児童の自己評価（生活振り返り平均80%以上）	数値	A 84%(81%)

⑥ 読書活動の充実

目標読書冊数を超える児童が90%以上	数値	A 98%(98%)
朝の読書、読み聞かせ、並行読書などの取組は、児童が本に親しむ習慣づけに効果的である。	職員	A 100%(100%)
読書は楽しい。	児童	A 87%(82%)

(5) 健康・体力・生活習慣

① 自ら進んで運動に親しむ資質や能力の育成

私は、体育の時間は運動する時間を増やす工夫をしている。	職員	A 100%(100%)
体力テスト（全種目全国偏差値－5未満）	数値	A 88%
体育では、運動する時間が十分にある。	児童	A 92%(85%)

② 運動や遊びの日常化

朝マラソンでは、体力の向上のために、歩かずに走っている。	児童	A 80%(72%)
昼休みは、外で遊ぶことが多い。	児童	C 59%(53%)
私は、外遊びを奨励する工夫をしている。	職員	A 89%(88%)

③ 健康・安全指導の充実

安全計画・防災計画は計画的に実施されている。	職員	A 100%(100%)
安全点検は、児童の安全な環境を守る為に効果的に行われている。	職員	A 100%(100%)
児童の食育は計画的に行われている。	職員	A 89%(93%)
学校は、子どもの安全指導や事故防止に努めている。（安全点検・安全指導・避難訓練等）	保護者	A 91%(88%)
健康な体づくりのために好き嫌い無く食べる努力をしている。	児童	A 79%(72%)
家庭では、子どもに早寝早起きをさせている。	保護者	A 85%(86%)
家庭では、毎日、朝食を食べさせてから登校させている。	保護者	A 97%(95%)
あなた（保護者）は、子どもに自力登校（自転車・徒歩登校）させるよう努めている。	保護者	C 55%(53%)

(6) 連携・協力

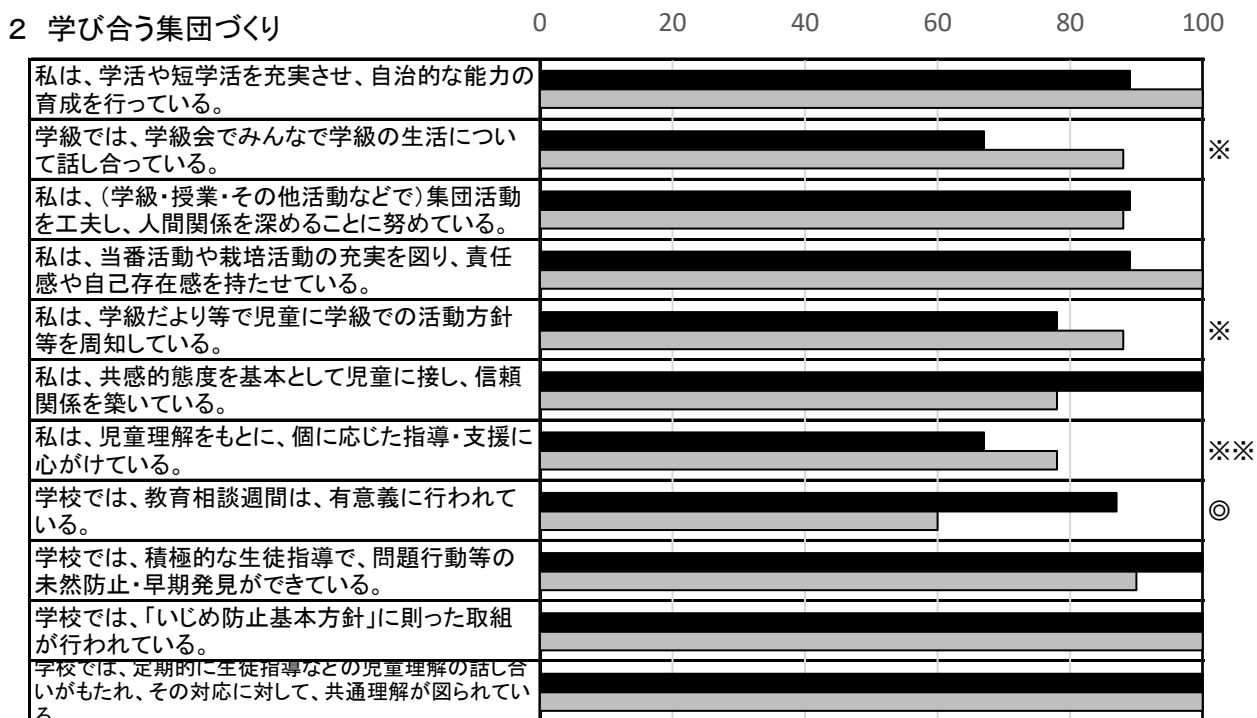
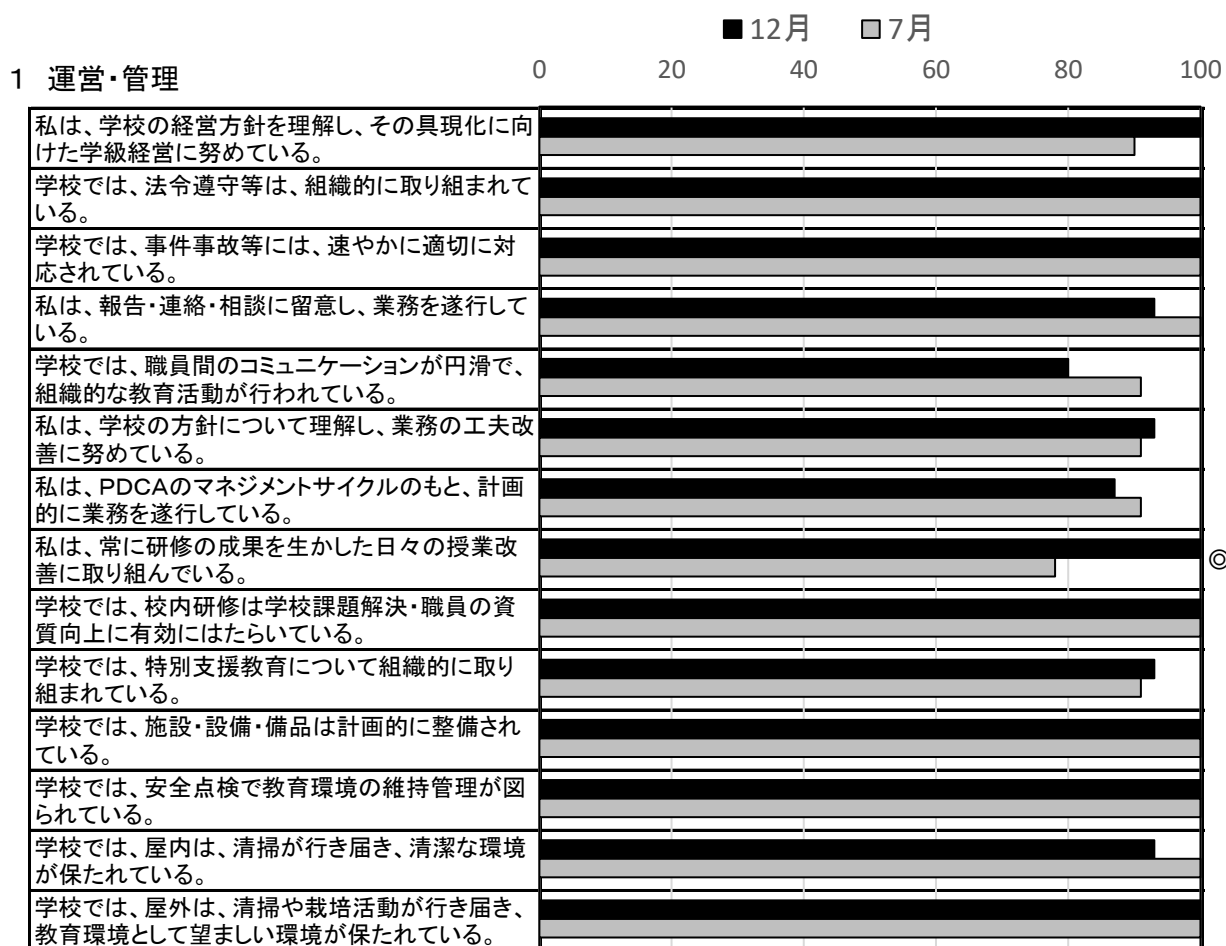
① 日常的な情報の発信

私は、たより等で教育活動について児童や保護者の理解を深めることに努めている。	職員	A 78%(100%)
学校は、授業参観や懇談会などの機会を適切に設けている。	保護者	A 90%(86%)
学校は、教育活動や児童の様子などをたよりなどで分かりやすく伝えている。	保護者	A 85%(81%)

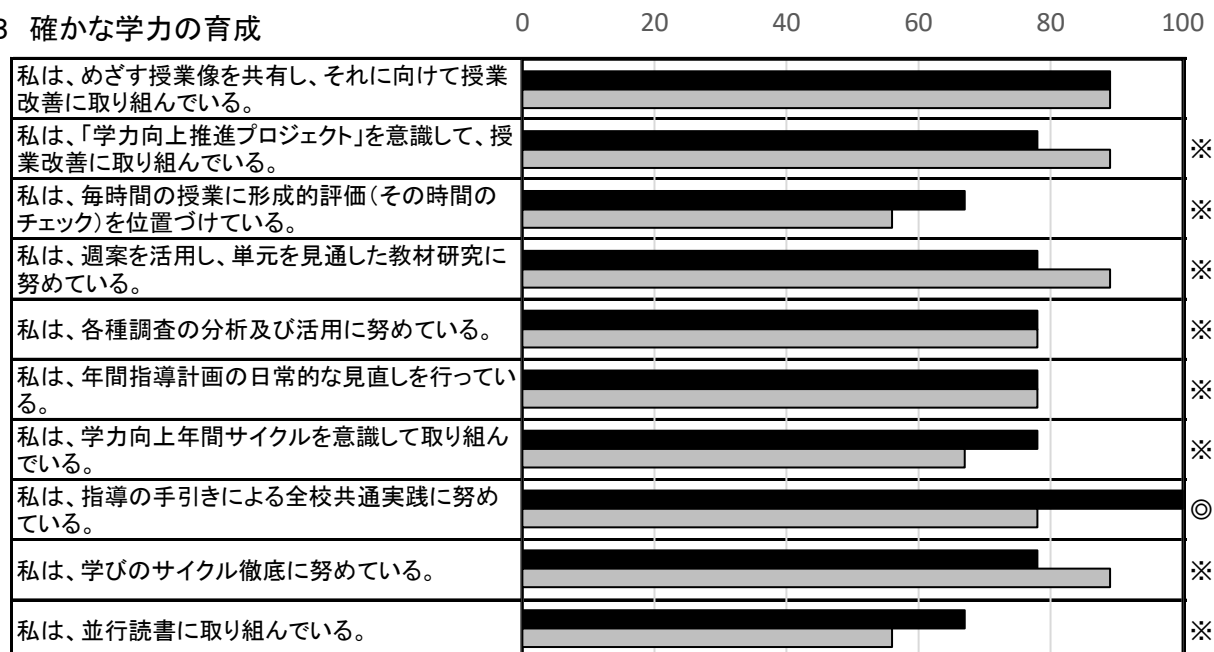
② P T A活動、地域の諸行事等への積極的な参加・連携・協力

私は、P T A 活動や地域の諸行事に積極的に参加し、連携に努めている。	職員	A 80%(80%)
私は、保護者との信頼関係作りに努めている。	職員	A 80%(80%)
学校は、保護者や地域の人々との交流を積極的に進めている。	保護者	A 80%(86%)
あなた（保護者）は、P T A 活動・授業参観等の学校行事にできるだけ参加するように努めている。	保護者	B 73%(76%)

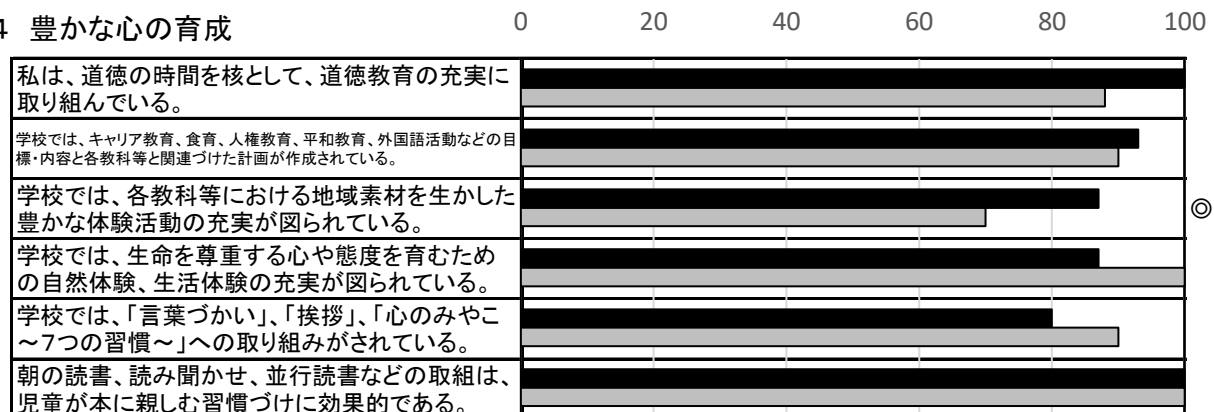
職員自己評価 平成30年度（12月）



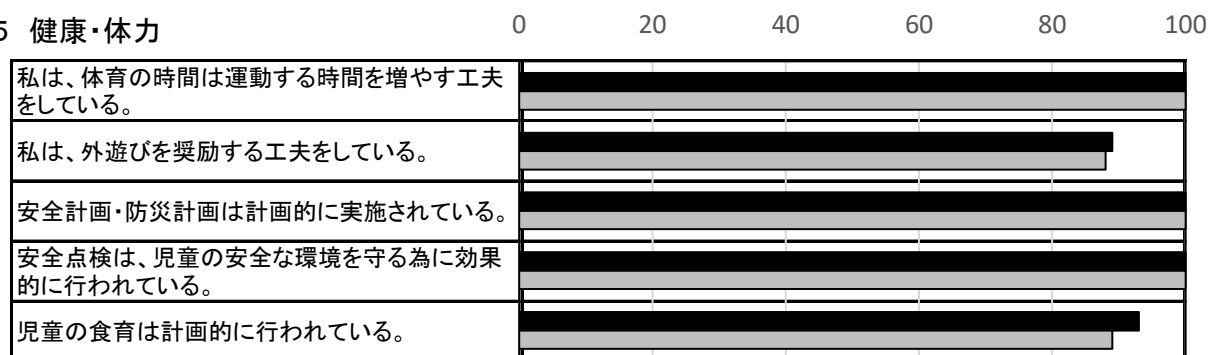
3 確かな学力の育成



4 豊かな心の育成



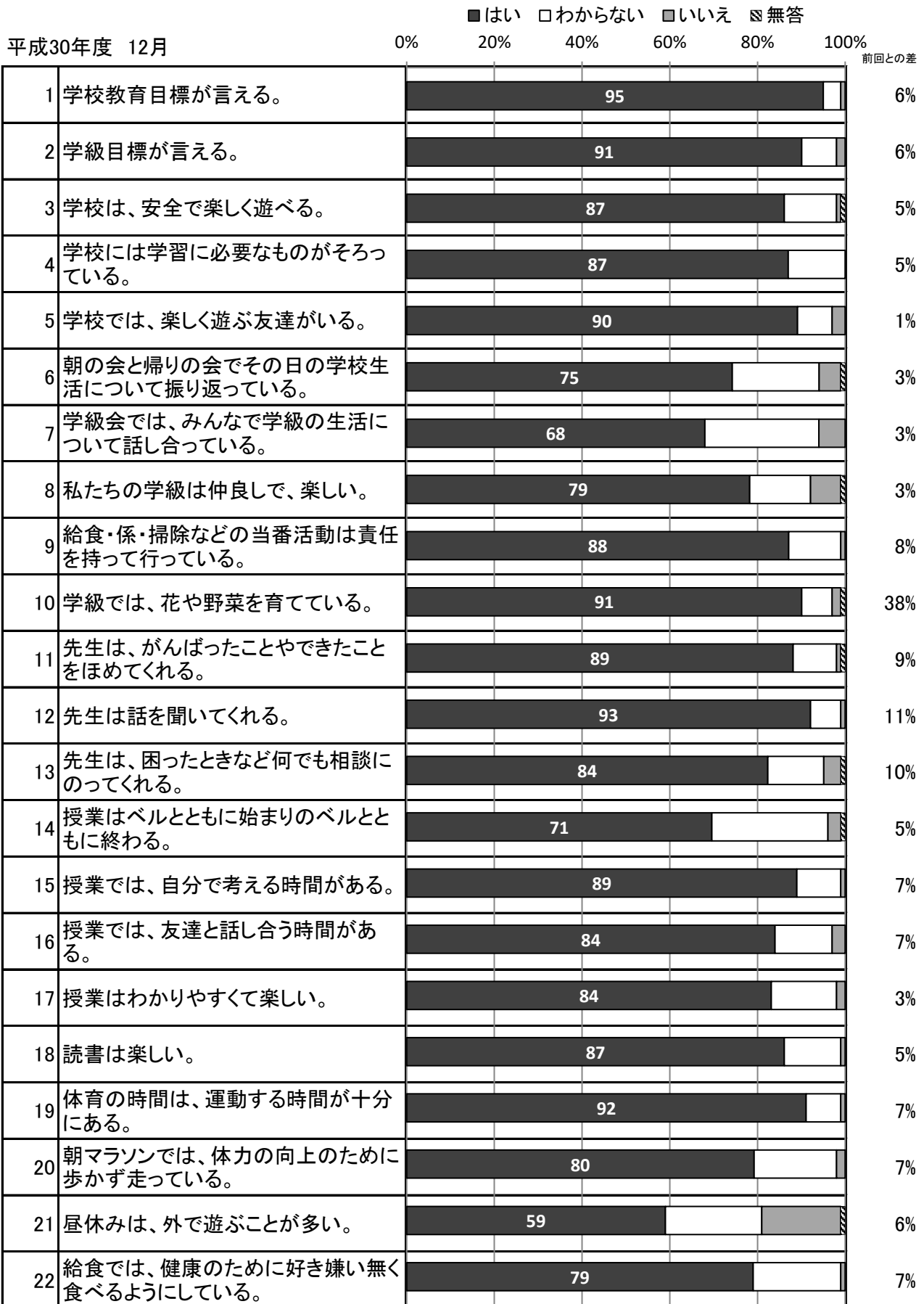
5 健康・体力



6 連携



学校評価児童アンケート



平成31年 2 月 6 日

保護者各位

宮古島市立下地小学校

校 長 乾 邦 夫

平成 30 年度 2 学期学校評価に係る保護者アンケートの結果について

学校評価における保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。多くの保護者の皆様にご協力いただきまして、今後の学校経営のために有益な資料となりました。

今後も、情報を公開し、開かれた学校として皆様に信頼される学校経営に努めて参りますので、ご協力をお願いします。（ご提出いただいた人数 117人/203人中 回収率57.6%）

	質問	そう思う	やや	どちらとも	あまり	そう思わない	無回答	肯定
学校について	1 子どもは、学校へ行くのが楽しいと言っている。	74	31	10	1	1	0	90%
	2 子どもは、学校行事(運動会、遠足など)を楽しみにし積極的に参加している。	94	17	4	2	0	0	95%
	3 子どもは、授業が楽しいと言っている。	62	36	17	2	0	0	84%
	4 先生は、子どもの困ったことや悩みなどについて、誠実に対応している。	52	43	17	4	1	0	81%
	5 先生は、子どもたちの能力や努力を適切・公平に評価している。	55	50	12	0	0	0	90%
	6 先生は、やっていいこと・悪いことについてきちんと指導している。	70	36	9	2	0	0	91%
	7 学校は、子どもの安全指導や事故防止に努めている。(安全点検・安全指導・避難訓練等)	60	47	9	1	0	0	91%
	8 学校は、授業参観や懇談会などの機会を適切に設けている。	71	34	10	2	0	0	90%
	9 学校は、教育活動や児童の様子などをたよりなどで分かりやすく伝えている。	65	34	16	1	1	0	85%
	10 学校は、学習の場にふさわしい環境の整備・充実に努めている。	64	44	8	1	0	0	92%
	11 学校は、保護者や地域の人々との交流を積極的に進めている。	53	41	20	2	1	0	80%
家庭について	12 家庭では、子どもに早寝早起きをさせている。	50	50	13	4	0	0	85%
	13 家庭では、毎日、朝食を食べさせてから登校させている。	102	11	2	0	2	0	97%
	14 家庭では、子どもの家庭学習の時間を確保し励ましの声かけに努めている。	67	41	8	1	0	0	92%
	15 あなた(保護者)は、PTA活動・授業参観等の学校行事にできるだけ参加するように努めている。	48	37	21	9	2	0	73%
	16 あなた(保護者)は、子どもに自力登校(自転車・徒歩登校)させるよう努めている。	51	13	33	14	6	0	55%

16項目、15項目で肯定的な回答（「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた方の合計）が70%を超え、その中でも9項目は肯定的回答90%以上と高く、おおよそ良好な状態と言えると思います。

※ 自由記述の欄では、お褒めの言葉も頂きました。ありがとうございます。

◎いつも先生方が過ごしやすい環境を作ってくださいありがとうございます。グラウンドなど、いつも整えてあり、安心して通わせることができます。
◎いつも指導ありがとうございます。安全に楽しく通うことができるのも先生方のおかげです。
◎毎日の日記がとてもいいです。日々の出来事や子供の考えがわかります。
◎担任の先生と一緒に「カルタした」とか「お話しした」とか、何気なく家に帰ってから嬉しそうに報告していて、忙しい中でも子供たちと関わってくれていることに感謝です。いつもありがとうございます。
◎いつもお世話になっております。安心して学校に行かせることができるのも、適切、公正に判断されている先生のおかげと思っています。学校行事、PTA活動、なかなか協力する事が出来ず申し訳ありません

ありがとうございます。保護者や地域の皆様のご協力のもと、学校教育の充実が図られています。子供たちにとって過ごしやすく、卒業後も母校として誇りの持てる教育環境を目指して、今後もご協力をお願いします。

※ ご意見・ご要望もございましたので、以下、学校としての意見を述べさせていただきます。なお、似た内容のご意見は、まとめたり、発言趣旨を変えないように短くしたりしてあります、ご了承ください。

- 日々の授業や指導で大変だと思うのですが、出来ればお年寄りとの交流の場やボランティア活動等の機会があればと思います。
- ボランティア活動やお年寄りとの交流があればいいなと思います。思いやりや自発的な行動につながるのではと思っています。

豊かな体験活動やボランティア活動は学習指導要領にも記述があり、学校教育活動の中で大切なものです。学習指導要領には、「学校がその目的を達成するため、高齢者や異年齢の児童など、地域における世代を越えた交流の機会を設けること。」という記述もあり、本校もそれに則って、縦割り班活動としての異年齢交流やボランティア活動を行っているところです。

他校では、低学年の生活科で昔遊びを取り扱い、地域のお年寄りの協力を得ながら活動している例も見られます。今後も教育活動の更なる充実を図るため、効果的な教材開発をしながら、分かる授業・楽しい授業の実現に向けて検討していきたいと思います。提案ありがとうございます。

- 学習発表会は、もう少し観ていて楽しいものにしてほしい。暗記したセリフを大声で発表しただけでは、何をいっているのかよくわからない。
- 学習発表会の時の演目で音読や劇は声が客席まで届きにくく、せっかくの練習の成果が思う存分発揮できないように感じました。会場内のざわめきや効果音に声がかき消されてしまい、もったいないと思います。大きな声を出すという事もわかりますが、マイクで拾わないと話の内容も理解しにくい場面も見受けられるので、ご検討下さるとうれしいです。(今年だけではなく例年そのようなことがあるかと)

学習発表会は、短い準備時間で、日頃の学習成果を発表することを目的に実施しています。来てくださった方に聞きやすい工夫や観て楽しい工夫をする努力をしていますが、まだ改善すべき点があると自己評価しています。

マイク使用に関しても、反省会で改善点として挙げられました。「大きな声を出すことも、学習の成果を発表することの一つの力である。地声で聞こえるようにしよう。」と練習していましたが、今後は、発表内容によって、マイク使用も検討したいと思います。

- 運動場近くにある遊具は、とても危険だと思います。早いうちに対策をして下さい。

子供たちに使用方法の注意を行っていますが、再度遊びの状況を確認して、対策を考えたいと思います。運動遊びを奨励していますが、安全に気をつけて遊ぶことを指導していきます。

- 子供たちの口が悪く、暴力も目立ちます。こわいです。
- いじわるをする子がいると聞いています。筆箱がのりでドロドロにされていたこともあります。他の子からも同様の話を聞きますが、特に指導することはないと聞きました。実際はどのようなのでしょうか。
- 友達にちょっかいをだされることにストレスを感じ歯ぎしりをしている時期がありました。話を聞くことなどをおして1週間程で治りましたが少し気になります。
- 男子の多いクラスなので、落ち着きのない場面をよくみます。強めに注意して欲しいです。

児童全員に、安心・安全な学校生活を提供することが本校の目標です。ご家庭からの情報提供及び連携した指導に対するご協力に感謝します。

「丁寧な言葉を遣おう」「思いやりを持って行動しよう」など、学校全体として重点的に指導しています。子供たちは、頭では分かっている行動に移すことが難しいこともあります。家庭と連携を深めながら粘り強く指導していきます。

問題行動が発生したら、学級指導や子供たちと話し合う機会をその日のうちに設けるようにしています。学級の実態に合わせて道徳の内容を入れ替えて指導することもあります。その都度、管理職にも報告し、指導方法の工夫をしています。また、教育相談などで一人一人話を聞く機会を設けてもいますが、学校で把握していない問題があるかもしれません。問題が発覚していない、または、対応がされていないと感じた時は、担任や管理職（校長・教頭）に相談して下さい。

学級が落ち着かない場面が観られたら、座席配置などを工夫し、学習に集中できるようにしています。どうしても騒がしくなる場面があれば、その都度、指導しているところです。児童には、その場にあった行動がとれるように、継続して指導していきたいと思います。

- 校庭や学校の外まわりは草かりもよくできていてきれいです。教室ももう少しそうじができるといいですね。
- トイレも入りづらいという子供もいました。（くさい、汚れている）

毎日の清掃活動、帰る前の整理整頓、放課後の日直による清掃をしています。清潔な生活環境を目指して、丁寧な清掃活動ができるよう、指導を工夫していきたいと思います。

教室以外の特別教室やトイレも、担当の職員がチェックをするようにしています。子供たちのトイレの使い方に課題があるので、指導を工夫しているところです。

- 3年生になったら2クラスを希望します。人数の割には教室がせまく感じます。

公立小学校の1学級の児童数は法律で決まっています。（法律では、1年生35人、2年生以上40人が1学級です。）沖縄県では、特別な予算を組んで2年生以上でも35人学級を実現しています。1学級に1人の担任が配置されますので、ご理解下さい。（36人からは2学級になります）

- 2学期は大きな学校行事や研修会等があつて、大変かと思いますが、授業参観と学級懇談会は毎学期に1回は実施してほしいです。

本校では、2学期には運動会と学習発表会があり、保護者の皆様が学校に来る機会があるということで、2学期の授業参観を行っておりません。授業参観日や学級懇談会の回数については、多くの保護者の皆様の意見も伺いながら、望ましい回数を探っていきたいと考えております。

- 家庭学習ノートのお手本、参考になる資料などがあれば教えてください。

家庭学習の習慣化については、今年度の重点項目として、ご家庭の協力を得ながら取り組んでいます。おかげさまで、少しずつではありますが、改善されています。ノートのお手本に関しては、各学年のお手本になるような児童のノートをコピーし、毎月、職員室前に貼り出したり、学級で児童に見せたりしています。ご家庭への資料提供については、学力向上推進委員会で方法について考慮して取り組みたいと思います。

- 図書館の本は、活字だけの本だけ借りるようにと、子供に話しているようですが、伝記の話や歴史の話等はとても社会の勉強に役立つと思うので「まんが～」の歴史等は読ませてあげたいと思うのでお願いします。子供は、少しでも本にふれるチャンスを減らせると、意欲がなくなると思うので、できれば指定せずに、いろんな本を読んで知識を増やしていってもらえると、ありがたいです。

子供たちに、高学年としての読書ということで、2冊借りられる内の1冊は活字だけの本を選ぶ指導をした学年があります。指導の内容が正しく伝わらず、誤解されていることが考えられますので、子供たちに再度確認しました。

基本的には、読書を楽しむことが大切ですので、学校全体として再確認したいと思います。

- 先生の暴言、体罰があるようです。

情報提供ありがとうございます。確認したところ、体罰はないと考えます。暴言も、常に意識して指導に当たっていますが、言葉が厳しくなってしまうところがあるのかなと思われます。

体罰・暴言では子供たちの主体的な学びが実現できません。学校全体で再度確認し、安心・安全な学校生活を目指します。

子供たちから情報がありましたら、管理職を始め、学校職員誰にでも良いので、至急連絡を下さいますよう、お願いします。

- 部活の終了時間を守ってほしい。おそすぎます。
- 部活の終了時間が遅く、帰り道が暗いので自転車通学はしていません。
- 学校から入江に向けての道に街灯がなく部活の帰りなど困っています。ぜひ、街灯をつけて下さるよう委員会へ要望をお願いします。

部活担当者と終了時間についての確認をしていますが、大会前など遅くなっている実態があるようです。遅くならないように、学校からも再度、依頼します。

学校の正門前の外灯の設置については、教育委員会に依頼しました。予算の関係上、設置がいつになるかは分からない状況です。

通学路の街灯は、学校からも委員会に伝えておきますが、広範囲にわたる生活に関することなので、地域の問題として住民の方から関係部署に働きかけた方が良いかと考えます。

ご協力ありがとうございました。